

『トウルー・グリット』 原題 TRUE GRIT



©2010 Paramount

映画批評

『トウルー・グリット』

原題 TRUE GRIT

～三者三様の正義とは....？

塚田三千代 (翻訳・映画アナリスト)

©2010. m.tsukada. All Rights Reserved.

本映画はジョン・ウェイン主演の名作西部劇映画『勇気ある追跡』(1969年)のリメイク版であり、チャールズ・ポーティスの原作小説に基づく映画である。映画では、アメリカ大陸の西部辺境へと追跡する3人の一人となる14歳の少女マティ・ロス役を演じるヘイリー・スタインフェルドが、名優ジェフ・ブリッジスとマット・デイモンをおさえて、秀逸した演技を披露している。

第61回ベルリン国際映画祭で、オープニング作品として上映された。第83回米・アカデミー賞に、10部門(作品・監督・主演男優・助演女優・脚色・撮影・美術・衣装デザイン・録音・音響効果)でノミネートされた。

監督のコーエン兄弟がマティ・ロスの視点から映像化して、1969年版を超えたウェスタン映画作品に仕上げた。従来の西部劇では見れなかったシーンとして雪の状景が登場する。そこで3人が会うのは薬売り商人で道案内の情報家である。雪の荒野を追跡するシーンは淡々として延々と描かれ、雪がなければ草木のない枯れ果てた岩石だらけの尾根道であったろう。14歳の少女マティ・ロスが大人を相手に、自分に有利になる交渉を進めるシーンで交わす会話は啞然とするほど巧みである。

要するに、本映画にはエンターテインメントに終わらせないものがある。主人公3人の人格たる三者三様な **true grit** (真の勇気)とは何かを考えさせる映画である。